

～ 海賊対処の第10次派遣部隊が無事任務を終え帰港する ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第10次派遣海賊対処行動水上部隊が昨年10月11日に日本を発って以来、約5ヶ月ぶりとなる3月12日、海上自衛隊横須賀基地へ帰港した。

第10次隊は、第6護衛隊司令（水間貴勝一等海佐）の指揮の下、護衛艦「おおなみ」（米丸祥一艦長）および同「たかなみ」（吉野敦艦長）、乗員約380名（海上保安官8名を含む）により編成され、アデン湾にて32回に及ぶ護衛活動を実施した。

今般の帰国行事では、派遣隊員に対し、神風英男防衛大臣政務官による訓示などが述べられた。

当協会からは、商船三井 平塚惣一専務執行役員および半田常務理事他が出席し、派遣部隊の指揮官らに御礼を申し述べるなど、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対してあらためて感謝の意を表した。

（海務部 山内）

（添付写真）



入港を横断幕とともに出迎える当協会関係者 入港後整列する水間隊司令以下隊員の方々



「荣誉礼」を受ける
神風英男防衛大臣政務官



帰国報告を行う水間貴勝隊司令



防衛大臣政務官ほかと参列する
当協会関係者



当協会を代表して水間隊司令他隊員の方々に対し
感謝の意を申し述べる平塚商船三井専務執行役員